

## 国際活動 パネルで紹介

27日まで静岡文化芸術大

ワークショップの成果をまとめたプレゼンを披露する学生＝浜松市中区の静岡文化芸術大



静岡文化芸術大(浜松市中区)が交流協定

を結ぶトルコ・イズミル経済大との活動をまとめた「産学共同国際デザインワークショップ5周年展」が22日、静岡文化芸術大ギャラリーで始まった。27日

まで。23日は休み。

両大は2014年の協定締結以降、毎年交互に両国を開催地として地元企業などから協力を受け、学生が地域課題の解決をテーマにワークショップに取り組んできた。今年の日

本開催で5回目を迎えたことを記念し、成果発表の場として展示を企画した。

会場には過去5年分のワークショップの概要や活動写真のほか、「富士山静岡空港における食プロモーション」をテーマにした今年の成果をまとめたパネル21枚を展示。オープニングセレモニーで、今年のワークショップに参加した静岡文化芸術大2、3年生12人が関係者にプレゼンテーションを披露した。同大の横山俊夫学長は「毎年新しく、さまざまなアイデアが出ている」と評価した。